

## シンポジウム開催の準備にあたって

第4回プログラミングシンポジウムの準備で一番気にしたことは、つまらないことながら、参加人員の増加対策である。いままでの調子だと、今回は150名程度の参加が予想され、宿泊設備や討論会場の収容能力ぎりぎりになつてしまい、参加者に多くの迷惑をかけ、下手をすると収容できなくなつてしまはしないかと懸念された。幸いにも(?)、参加申込みを早目にしたこともあつてか、この限界をやや下まわる人員でおさまつたので一安心した次第である。ところで、講演日程やこの報告集は幹事に一任されて作成したのであるが、御期待にそえなかつた点多々あると思われる。その点は御寛容いただきたい。なお、第4回シンポジウムは次のように進行する予定である。

1月9日

午前 モニター システム

午後 自動プログラミングとデータ処理

1月10日

午前 微分方程式

午後 函数近似, 他

1月11日

午前 自由課題

1962年12月20日

幹事長	浦	昭二
幹事	有山	正孝
〃	戸田	英雄
〃	清水	留三郎
〃	米田	信夫
〃	永坂	秀子

本 PDF ファイルは 1963 年発行の「第 4 回プログラミング・シンポジウム報告集」をスキャンし、項目ごとに整理して、情報処理学会電子図書館「情報学広場」に掲載するものです。

この出版物は情報処理学会への著作権譲渡がなされていませんが、情報処理学会公式 Web サイトに、下記「過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について」を掲載し、権利者の検索をおこないました。そのうえで同意をいただいたもの、お申し出のなかったものを掲載しています。

[https://www.ipsj.or.jp/topics/Past\\_reports.html](https://www.ipsj.or.jp/topics/Past_reports.html)

#### 過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について

情報処理学会発行の出版物著作権は平成 12 年から情報処理学会著作権規程に従い、学会に帰属することになっています。

プログラミング・シンポジウムの報告集は、情報処理学会と設立の事情が異なるため、この改訂がシンポジウム内部で徹底しておらず、情報処理学会の他の出版物が情報学広場 (=情報処理学会電子図書館) で公開されているにも拘らず、古い報告集には公開されていないものが少からずありました。

プログラミング・シンポジウムは昭和 59 年に情報処理学会の一部門になりましたが、それ以前の報告集も含め、この度学会の他の出版物と同様の扱いにしたいと考えます。過去のすべての報告集の論文について、著作権者 (論文を執筆された故人の相続人) を探し出して利用許諾に関する同意を頂くことは困難ですので、一定期間の権利者搜索の努力をしたうえで、著作権者が見つからない場合も論文を情報学広場に掲載させていただきたいと思います。その後、著作権者が発見され、情報学広場への掲載の継続に同意が得られなかった場合には、当該論文については、掲載を停止致します。

この措置にご意見のある方は、プログラミング・シンポジウムの辻尚史運営委員長 ([tsuji@math.s.chiba-u.ac.jp](mailto:tsuji@math.s.chiba-u.ac.jp)) までお申し出ください。

加えて、著作権者について情報をお持ちの方は事務局まで情報をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

期間：2020 年 12 月 18 日～2021 年 3 月 19 日

掲載日：2020 年 12 月 18 日

プログラミング・シンポジウム委員会

情報処理学会著作権規程

<https://www.ipsj.or.jp/copyright/ronbun/copyright.html>